

目 次

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針).....	1
募集人員.....	5
出願資格.....	5
【注意】TOEFLのスコア提出等について.....	7
出願手続.....	8
受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談.....	14
入学者選抜方法等.....	14
試験日時及び試験場.....	15
受験上の注意事項.....	15
合格者発表.....	15
入学手続.....	16
個人情報の取扱い.....	17
入試情報の開示.....	17
学部の紹介.....	18
学生生活.....	22

(添付書類)

1. 入学願書(裏面も記入すること)・受験票・写真票
2. 志望理由書
3. 履歴書
4. C票 振込金受付証明書(入学検定料の納入上の注意)
5. 納入確認票
6. 宛名ラベル(合格通知書・入学手続案内送付用)
7. 「受験票在中」封筒
8. 「入学願書在中」封筒

私費外国人留学生特別入試に関する問合せ先 (裏表紙裏面)

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

1. 大学の教育目的

和歌山大学は、和歌山、南大阪地域の学術文化の中心として広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を研究、教授し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、社会に寄与する有為な人材を育成します。

2. 大学のアドミッション・ポリシー

- (1)学問への探究心にあふれ、課題解決のため意欲的に取り組むことのできる人
- (2)明確な目的意識をもつ人
- (3)新しいことに積極的に挑戦する意欲をもつ人

経済学部

1. 教育目的

本学部は、経済学・経営学・会計学・情報学・法学など、多様化・複雑化する経済社会の問題発見・解決に不可欠な社会科学の諸分野の教員を揃え、次のような人材の育成を目的とします。

- (1)基礎学力(幅広い教養と論理的思考力)と広い視野(社会科学の諸分野の専門知識と実務能力)を礎として、多様で変化の激しい予測困難な社会を体系的に理解できる人材
 - (2)個人の自立と他者との協働を図りながら、経済社会のさまざまな問題を真摯に受け止め、その解決に向けて的確に判断し創造的・実践的・主体的に行動できる人材
- 具体的には、金融業・サービス業・製造業などの各種産業や、公務・会計・税務・法務・商業教育・調査研究等の分野において、国際社会及び地域社会で活躍できる人材の育成を目指します。

2. アドミッション・ポリシー

上記のような教育目的に基づき、次のような人を求めています。

- (1)経済学・経営学・法学等を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を有する人。
- (2)社会・経済における諸問題に関心を持ち、卒業後、専門知識を活かして関連分野で能力を発揮したい人。
- (3)主体的に学修し、新しいことに積極的に挑戦する意欲を有する人。
- (4)コミュニケーション能力を持ち、協調性があり活発に議論ができ、リーダーシップを有する人。

また、特にスポーツ推薦入試では次のような人を求めます。

- (5)スポーツマネジメントに関心を持ち、関連する経営学・経済学などの専門領域の学修に積極的に取り組める人。
- (6)スポーツの実践・普及・振興に関心を有する人。

3. 入学者選抜の基本方針

本学部では、一般入試(前期日程・後期日程)のほか、推薦入試・スポーツ推薦入試・社会人特別入試・帰国子女特別入試・私費外国人留学生特別入試及び第3年次編入学入試など、複数の入学者選抜方法を採用することで、多様な人材の受け入れを目指しています。

- (1)一般入試(前期日程)では、大学入試センター試験で5～6教科の基礎的・総合的学力をみるとともに、個別学力検査では英語と数学を実施します。
- (2)一般入試(後期日程)では、大学入試センター試験で外国語を含む3～4科目の基礎的な学力をみるとともに、個別学力検査(小論文)の配点を大きくとることで、社会科学を学ぶ上で必要な理解力(読解力)・論理的な思考力・表現力(文章力)に秀でた人を求めます。
- (3)推薦入試では、高等学校において優秀な学業成績を取め、かつ、社会科学を学ぶ上で必要な理解力(読解力)・論理的な思考力・表現力(文章力)を有するとともに、高いコミュニケーション能力を有する人を求めます。
- (4)スポーツ推薦入試では、高等学校において優秀なスポーツ成績と良好な学業成績を取め、かつ、社会科学を学ぶ上で必要な理解力(読解力)・論理的な思考力・表現力(文章力)を有するとともに、高いコミュニケーション能力を有する人を求めます。
- (5)以上のほか、社会人特別入試・帰国子女特別入試・私費外国人留学生特別入試及び第3年次編入学入試を行い、多様な人材の受け入れを目指します。

システム工学部

1. 学部の教育目的

工学ではなく「システム工学」という学部名称には、教育対象の複合性・総合性が意識されています。したがって本学部の教育目的としてまず第一に、

- (1)視野を広く持ち、技術を体系的に理解できる能力を養う

ことをあげなければなりません。

しかし、初めて高等教育を受ける受験生に対して、総合力だけに重点をおくこともできません。よって、

- (2)専門領域に応じた基礎学力・基礎技術を確実に修得させる

こともまた必要です。すなわち、本学部では専門性にある程度の幅をもたせて科学技術の教育を行うことを目的とします。

「システム」にはまた応用性を重視するという意味合いも含まれています。

本学部では実学教育を旨とし、

(3)産業・社会のニーズに即応できる実践力を養うこと

も目的として掲げています。

これには、知識と技術を実際の製造物に応用できる能力とともに、システムを開発・運用するプロセスに必要なコミュニケーション能力を養うことも含まれます。

2. アドミッション・ポリシー

前節で設定した教育目的を実現するため、本学部の受験生に対し、下記のようなアドミッション・ポリシーを掲げています。高等学校等で履修すべき具体的な教科・科目については、入学者選抜実施教科・科目等を参考にしてください。

(1)工学系大学教育にたえるため、理数系の基礎知識と問題解決能力を求める。

(2)システム工学特有の複合領域の大学教育に適合するよう、論理的思考力と状況判断力、さらに高い倫理感を求める。

(3)今日の技術者・研究者に必要な英語力とコミュニケーション力の素養を求める。

観光学部

1. 学部の教育目的

21世紀は「観光の時代」。観光は、世界のあらゆる国や地域で最も有望な成長分野として注目されています。日本においても、観光は戦略産業と位置づけられ、官民一体での「観光立国」実現に向けた政策や取組が加速するなか、観光産業や行政の現場と密接に連携しながら、新しい観光学の創造及び観光を支えるに相応しい豊かな教養と専門性、さらにはグローバル時代に対応したハイレベルな国際的・学際的視点を有する観光人材の輩出がますます期待されています。

そこで本学部は、今日の観光を支えるにふさわしい専門性、幅広い教養、日本文化に対する理解と知識、ITスキル、そして高度な外国語運用能力を兼ね備えた人材の育成を目的とします。観光学の学問体系の全体像として「観光経営」「地域再生」「観光文化」の3つの基本領域を総合的に学ぶとともに、いずれかの領域に専門性を発揮できるようになること、そうした専門性を実践的な諸課題に応用できる包括的対応力(ジェネリックスキル)を獲得することが目標となります。さらに、異文化コミュニケーション力を高め、グローバル化した社会状況への高度な対応力を涵養することや、地域の諸課題に取り組む実践型教育を通して、オンサイトでの創造的実践力を身につけることを目指します。

2. アドミッション・ポリシー

(1)学問への探求心にあふれ、課題解決のために論理的に思考できる人

(2)明確な目的意識を持ち、新しいことに積極的に挑戦できる人

(3)高いコミュニケーション能力を持ち、リーダーシップを発揮できる人

(4)観光に関連する組織体の経営問題に関心がある人

- (5)観光を通じた地域再生の問題に関心がある人
- (6)国際的な交流や、国内外の様々な地域の文化に関心がある人
- (7)インターンシップやフィールド調査などの学外実習に意欲的に取り組むことのできる人
- (8)大学で修得した知識を活用して社会で活躍したい人

募集人員

学 部	学 科	募集人員
教 育 学 部	—	募集なし
経 済 学 部	経 済 学 科	若 干 名
システム工学部	システム工学科	若 干 名
観 光 学 部	観 光 学 科	若 干 名

出願資格

次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者。

【基礎資格】

次の各号のいずれかに該当する者。

1. 外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2017年3月31日までに修了見込みの者。
2. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。)に合格した者で、2017年3月31日までに18歳に達するもの。
3. 外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があると認められる当該国の検定に合格した者を含む。)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した施設において我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した者及び2017年3月31日までに修了見込みの者で、かつ、2017年3月31日までに18歳に達するもの。
4. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を外国において取得した者で、2017年3月31日までに18歳に達するもの。
5. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を外国において取得した者で、2017年3月31日までに18歳に達するもの。
6. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を外国において取得した者で、2017年3月31日までに18歳に達するもの。

【要件】

次のすべてに該当する者。

1. 日本国籍を有しない者(日本国の永住許可を得ている者を除く)。
2. 日本の大学において教育を受ける目的をもって入国した者。
3. 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学後に取得できる者。
4. 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験した者で、出願する学部の指定する【日本留学試験、TOEIC又はTOEFLにおける出願要件】(6ページ参照)を満たす者。
5. TOEIC又はTOEFLのいずれかの成績が、出願する学部の指定する【日本留学試験、TOEIC又はTOEFLにおける出願要件】を満たす者。

※インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の外国の教育機関出身者は、出願が認められない場合があるため、必ず出願前(できるだけ早い時期)に、出願資格があるかを裏表紙裏の志望する学部の照会先に照会してください。

【日本留学試験、TOEIC又はTOEFLにおける出願要件】

試験 学部・学科		日本留学試験					TOEIC	TOEFL		
		日本語	総合科目	理科	数学	得点等		摘要	PBT (ペーパー試験)	iBT (インターネット試験)
経済学部	経済学科	○	○	×	「コース1」	「日本語」の得点が200点以上。 「総合科目」と「数学」の合計得点が240点以上	「総合科目」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	450点以上	440点以上	42点以上
工学部	システム工学科	○	×	○	「コース2」	「日本語」の得点が200点以上。 「数学」と「理科」の合計得点が240点以上	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。各科目の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	410点以上	390点以上	29点以上
観光学部	観光学科	○	総合科目又は理科のいずれか		「コース1」又は「コース2」のいずれか	各科目の得点が平均点以上	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。「総合科目」「理科」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	450点以上	440点以上	42点以上

(注1) 日本留学試験の成績を利用できるのは、2016年度の6月実施分又は11月実施分のいずれかの試験結果とします。

(注2) TOEICのスコアは、出願期間最終日よりさかのぼること2年以内に受験した試験結果とします。

(注3) TOEFLのスコアは、出願期間最終日よりさかのぼること2年以内に受験した試験結果とします。

(注4) 日本留学試験の「日本語」に関して、「記述」の点数は利用しません。

【注意】TOEFLのスコア提出等について

TOEFLのスコアを提出してください。

ただし、出願期間最終日よりさかのぼること2年以内に受験した試験結果とします。

「Official Score Report」
(TOEFL受験者がアメリカETSに申し込むこと。)

(注意事項)

TOEFL-ITPのスコアは利用できません。

受験者が和歌山大学の志望学部の学務課学務係に届くようアメリカETSに発行手続を行ってください。DI Codeは、志望学部により異なりますので、十分注意し手続をしてください。

受験者が発行手続を行った後、和歌山大学志望学部の学務課学務係に「Official Score Report」が直送されます。

発行手続には、志望学部毎の次のDIコード等が必要です。

DI Codeは、志望学部により異なりますので、十分注意し手続をしてください。

志望学部	Name of Institution	DI Code
経済学部	Wakayama University Faculty of Economics Student Affairs Section 2	B541
システム工学部	Wakayama University Faculty of Systems Engineering Student Affairs Section 3	B540
観光学部	Wakayama University Faculty of Tourism Student Affairs Section 4	B539

TOEFLの公式スコア「Official Score Report」が出願期間内に届かなかった場合、書類不備となり出願は受理できません。

本学に届くまで2か月程度かかる場合もありますので、時間には十分余裕をもって送付手続をしてください。

出願手続

出願期間・方法

平成29(2017)年1月5日(木)～1月10日(火)

※郵送の場合は出願期間最終日の17時までに本学必着。

- ①出願者は、出願書類等を取り揃え、本学所定封筒を用い、提出してください。
- ②持参又は書留速達郵便により受付します。
- ③持参の場合の受付時間は9時から16時(12時から13時は除く)までとします。
- ④郵送の場合は、平成29(2017)年1月10日(火) 17時までに本学に必着したものに限りです。
- ⑤出願期間内に書類が届かなかった場合、書類不備となり出願は受理しません。

出願書類提出先

〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学 経済学部学務課学務第二係
システム工学部学務課学務第三係
観光学部学務課学務第四係

出願書類

指示がなければ、出願書類は全て日本語で記入してください。

1	入学願書(裏面：出願資格) 受験票 写真票	本要項添付の所定様式です。 必要事項を全て日本語(日本語以外での記載の指示がある欄を除く)で自書してください。 裏面の出願資格も忘れずに記入してください。 出願前3か月以内に撮影した同一の顔写真(縦5cm×横3.5cm、正面向き、無帽、上半身、無背景の顔写真)を、入学願書・受験票・写真票の所定欄に貼付してください。
2	志望理由書	本要項添付の所定様式です。 必要事項を日本語で自書してください。
3	履歴書	本要項添付の所定様式です。 日本語又は英語で自書してください。
4	証明書等 出願資格は5ページを参照してください。	基礎資格Ⅰに該当する者 1. 最終学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 ○最終学校が高等教育の学校(大学)の場合は、中等教育の学校(日本の高等学校相当)の証明書も併せて提出してください。 2. 中等教育(日本の高等学校相当)3年分の成績が記載された成績証明書(各学年毎の成績が分かるもの) ○最終学校が高等教育の学校(大学)の場合は、高等教育の学校(大学)と、中等教育の学校(日本の高等学校相当)の証明書を提出してください。 (注) 1及び2は出身学校長発行のものに限ります。 3. 中等教育(日本の高等学校相当)の修了を認定する外国の統一試験等の合格(見込)証明書及び成績(評価)証明書(該当者のみ)。 ○該当者(その統一試験等に合格しなければ所在する国の中等教育(日本の高等学校相当)の修了と認められない教育制度の国で教育を受けた者)は、1、2に加え3を提出すること。 (参考) 外国の統一試験等 イタリア共和国の教育制度によるもの・Maturita(マトゥリタ)試験 その他の国の教育制度によるもの国(州)の実施する統一試験等

	<p>基礎資格 2 に該当する者</p> <p>大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GEDtest」等がこれに該当します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当該検定の合格証明書 2. 当該検定の成績証明書 <hr/> <p>基礎資格 3 に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 準備教育課程等入学以前に卒業した高等学校に対応する学校の成績証明書及び卒業(修了)証明書 (検定に合格した者は、その合格証明書及び合格成績証明書) 2. 準備教育課程等の修了証明書又は修了見込証明書 <hr/> <p>基礎資格 4 に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際バカロレア資格証書 (International Baccalaureate Diploma)の原本証明された写 2. 国際バカロレア資格最終試験 6 科目の成績評価証明書 <hr/> <p>基礎資格 5 に該当する者</p> <p>一般的大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)の原本証明された写</p> <hr/> <p>基礎資格 6 に該当する者</p> <p>バカロレア資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)の原本証明された写 及びバカロレア資格試験成績証明書(Relevé des Notes)</p>
<p>【4 証明書等 注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○証明書等が英語以外の外国語で作成されている場合、日本語又は英語に翻訳し、その内容が原本と相違ないことを大使館等で証明を受けたものも併せて提出してください。 ○成績証明書で、科目名、成績評価等が符号又は略字等で表示されている場合は、その説明書を添付してください。 ○改姓名等により現在の氏名と書類の氏名が異なる場合は、公的機関が発行した書類の写を添付してください。 ○証明書等は、学校長又は機関の長の作成したものを提出してください。 ○証明書等は、「原本証明された写」と指示がない限り全て原本を提出してください。原本の写しであることの証明は大使館等公的機関で受けてください。 ○「原本証明された写」と指示がある場合でも必要に応じ原本の提示を求める場合があります。 	

5	国籍を証明する書類	<p>次のいずれかを提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「在留カード」の両面コピー 2. 市区町村発行の「住民票の写し」(原本)で、姓名、国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの 3. 上記を提出できない場合(出願期間を含んだ期間の短期滞在者は、パスポートのコピー(すべてのページ))
6	日本留学試験成績通知書(日本学生支援機構発行)のコピー	平成28(2016)年6月実施分又は11月実施分のいずれか1つを提出してください。
7	TOEIC又はTOEFLのスコア	<p>(TOEICの場合)</p> <p>TOEIC運営委員会発行の証明書「Official Score Certificate(公式認定証)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係機関が専用紙で発行したものに限り、自分でプリントアウトしたものは受け付けません。 ○TOEIC-IPのスコアは利用できません。 <p>(TOEFLの場合)</p> <p>公式スコア票「Official Score Report」(TOEFL受験者がアメリカETSに申し込むこと。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○詳細な手続は、必ず7ページを確認してください。 ○TOEFLの公式スコア「Official Score Report」が出願期間内に届かなかった場合、書類不備となり出願は受理できません。本学に届くまで2か月程度かかる場合もありますので、時間には十分余裕をもって送付手続をしてください。 ○TOEFL-ITPのスコアは利用できません。

8	<p>入学検定料 (17,000円)</p>	<p>17,000円 (入学検定料の納入方法) 金融機関又はコンビニエンスストア(日本国内の店舗のみ)のいずれかの方法により納入してください。</p> <p>1. 金融機関窓口(ゆうちょ銀行を除く)による納入方法</p> <p>①本要項添付の所定様式です。 「平成29年度入学検定料の納入上の注意(私費外国人留学生特別入試用)」の振込依頼書等記入要領に従い必要事項を記入し、「C票 振込金受付証明書(納入確認票貼付用)」、「B票 振込金領収書」、「A票 振込依頼書」を切り離さずに「電信扱」が利用できる金融機関窓口(ゆうちょ銀行を除く)から振り込みしてください。振込手数料は志願者負担となります。 注1. 通常、金融機関の窓口営業時間は、15時までです。また、土日・祝日は休業となります。 注2. ATM・スマートフォン・携帯電話・PC等からは振り込まないでください。</p> <p>②振り込み後は、「C票 振込金受付証明書(納入確認票貼付用)」、「B票 振込金領収書」を受け取ってください。C票、B票に金融機関収納印が押印されているかを必ず確認してください。 C票は本要項添付の「納入確認票」所定欄に貼付する必要があります。 B票は領収書となりますので大切に保管してください。</p> <p>2. コンビニエンスストア(日本国内の店舗のみ)による納入方法</p> <p>①事前にWebでの申込みが必要です。払込み方法等の詳細は、必ず下記ホームページで確認してください。 https://e-shiharai.net/ QRコード</p>  <p>②下記の払込み期間中に払い込みください。 払込期間：平成28(2016)年12月1日(木) 0:00から 平成29(2017)年1月10日(火) 15:00まで</p> <p>③払込み後は、「入学検定料・選考料取扱明細書」を必ず受け取ってください。「収納証明書」部分は本要項添付の「納入確認票」所定欄に貼付する必要があります。</p> <p>3. 検定料返還について 出願を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても振り込み済の検定料は返還しません。ただし、次の場合は、平成29(2017)年3月3日までに返還請求を行ってください。 ・検定料振り込み後、出願書類を提出しなかった者又は出願が受理されなかった者。 ・検定料を誤って二重に振り込みした者。</p>
---	----------------------------	---

9	<p>納入確認票 C票 振込金受付証明書 又は 収納証明書 (納入方法により異なります。)</p>	<p>(金融機関により納入した場合) 本要項添付の所定様式です。 金融機関で受領した、「<u>C票 振込金受付証明書</u>」の取扱金融機関収納印を確認し、本要項添付所定様式「<u>納入確認票</u>」の所定欄に糊で剥がれないように貼付してください。取扱金融機関収納印のないものは無効のため、必ず確認してください。取扱金融機関収納印が押印されていないC票の場合は出願を受理しません。</p> <p>(コンビニエンスストアにより納入した場合) 払込み後に交付される「<u>入学検定料・選考料取扱明細書</u>」の「<u>収納証明書</u>」を本要項添付所定様式「<u>納入確認票</u>」の所定欄に糊で剥がれないように貼付してください。</p>
10	<p>宛名ラベル (合格通知書・入学手続案内送付用)</p>	<p>本要項添付の所定様式です。 志願者の日本国内の郵便番号、住所、氏名を記入してください。団地、アパート等に居住している者は、棟番号、戸番を入れ、間借りをしている者は「〇〇様方」と記入してください。 ※印欄は記入しないでください。</p>
11	<p>「受験票在中」封筒 (本学からの受験票送付用)</p>	<p>本要項添付の所定封筒です。 362円分の切手を2枚以内で貼付してください。 記入は「宛名ラベル」に準じ、志望学部も記入してください。</p>
12	<p>「入学願書在中」封筒</p>	<p>本要項添付の所定封筒です。 出願書類を本学に持参又は郵送する際に使用する封筒です。 封筒表の志望する学部名、志願者住所・氏名欄に記入し、出願書類を整え、封入してください。</p>

出願上の注意事項

1. 出願書類に記入する文字は黒のボールペン書き(摩擦等の温度変化で筆跡が透明化するボールペンは使用不可)とし、楷書で正確に記入してください。
2. 記載事項を訂正する時は、誤記部分を2本線で抹消しその上に訂正印を押印してください。修正液類の使用や紙面の削り取り等はしないでください。
3. 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
4. 出願後の書類は、一切返還しません。
5. 出願後は記載事項の変更は認めません。ただし、出願後、転居等の理由により、入学願書、宛名ラベル(合格通知書・入学手続案内送付用)、「受験票在中」封筒(本学からの受験票送付用)に記入した住所、連絡先に変更があった場合は、直ちに志望した学部の学務係まで簡易書留速達郵便で届け出てください。届け先は本要項裏表紙裏面【私費外国人留学生特別入試に関する問合せ先】を参照してください。
6. 出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障がいのある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、事前に電話連絡した上で事前相談の申請をしてください。連絡先は、本要項裏表紙裏面【私費外国人留学生特別入試に関する問合せ先】を参照してください。

入学者選抜方法等

入学者選抜方法は、日本留学試験の成績、本学が実施する面接(日本語)及び出願書類により総合して行います。

学力検査等

	日本留学試験 (2016年6月実施分又は11月実施分のいずれか)				本学が実施する 学力検査等	配点 合計	備 考
	日本語 (「記述」は除く。)	総合 科目	理科	数学	面接 (日本語)		
経済学部	○ 400	○ 200	× —	○ 200	○ 1200	2000	上段の○、※印は配点対象であることを表し、下段の数字は配点を表します。 なお、日本留学試験の科目の選択、※印の「総合科目」と「理科」の選択は、【日本留学試験、TOEIC又はTOEFLにおける出願要件】によります。
システム 工学部	○ 400	× —	○ 200	○ 200	○ 800		
観光学部	○ 400	※ 200		○ 200	○ 800	1600	

試験日時及び試験場

平成29(2017)年2月17日(金)

学 部	学力検査等	試験開始時刻	試 験 場
経済学部	面接	13:30	和歌山大学経済学部講義棟 (和歌山市栄谷930)
システム工学部			和歌山大学システム工学部A棟 (和歌山市栄谷930)
観光学部			和歌山大学経済学部講義棟 (和歌山市栄谷930)

受験上の注意事項

1. 試験当日は、
「和歌山大学私費外国人留学生特別入試受験票(以下「和歌山大学受験票」)」と
「出願時に提出した日本留学試験成績通知書と同じ回の受験票」
を持参してください。
2. 和歌山大学受験票は、学力検査等の受験後も、入学手続きの際に必要となりますので試験終了後も大切に保管してください。

合格者発表

平成29(2017)年3月6日(月) 9時

和歌山大学構内の所定の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には速達郵便により送付します。合格通知書、和歌山大学受験票は、入学手続きの際に必要となりますので試験終了後も大切に保管してください。

不合格者への通知は行いません。また、電話、メール等による可否の問合せには応じません。

入学手続

合格通知を受けた者は、入学手続期間内に入学手続を行ってください。入学手続の詳細は、合格通知書とともに送付する「入学手続案内」で指示します。

入学手続方法

「入学手続案内」を熟読の上、必要書類等を整え、「持参による方法」又は「郵送による方法」により行ってください。郵送による場合は、書留速達で入学手続期間【時間厳守】までに本学必着するように郵送してください。

入学手続期間

平成29年3月14日(火)から3月15日(水) 9時30分～17時まで

提出書類

提出書類	備考
和歌山大学私費外国人留学生特別入試受験票	照合し、入学手続完了後返却します。
合格通知書	照合し、入学手続完了後返却します。
入学料	282,000円（下記注参照） 本学所定の振込依頼書により、入学手続時までに納入してください。 平成29年度入学者の納入金額及び納入方法の詳細は「入学手続案内」でお知らせします。
その他	上記以外の必要書類は、「入学手続案内」で指示します。

注1 上記記載の金額は、平成28年4月現在のものです。

注2 入学料の改定が行われた場合には、改定後の金額を納入することになります。

注3 既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

(ア) 誤って二重に納入した場合

(イ) 入学手続を行わなかった又は完了しなかった場合

注4 入学料の納入のみでは、入学手続を完了したことにはなりません。

入学前の主な諸経費（単位：円）

諸経費	教育学部	経済学部	システム工学部	観光学部
学会費・同窓会費・後援会費	37,000	52,000		10,000
研修・実習経費	12,000	20,000		23,000
学生団体諸会費	20,500	20,500	20,500	20,500

注1 上記記載の金額は、平成28(2016)年4月入学者のものです。平成29(2017)年4月入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。

入学後に必要な納付金

授業料 半期分 267,900円 年額 535,800円

注1 上記記載の金額は、平成28(2016)年4月現在のものです。

注2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

注3 平成29(2017)年度入学者の納入金額については、決定次第、別途お知らせします。

入学手続に関する注意事項

1. 入学手続期間中に入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものととして取り扱います。
2. 入学手続完了後、高等学校等の課程を卒業(修了)しないなどの事由が生じた場合は、入学許可を取り消します。
3. 入学手続完了後、理由の如何に関わらず入学を辞退する場合は、平成29年3月31日(金) 17時までに「入学辞退願」を本学入試課に提出し、その許可を得てください。入学手続完了後に入学を辞退した場合は、入学料の返還はできません。平成29年3月31日(金) 17時を超えての「入学辞退願」は受付しませんので注意してください。

個人情報の取扱い

本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する方針」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。

1. 出願書類等に記載された個人情報は、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」、「入学手続」の入試業務、「入試の改善や志願動向等の調査・研究」、「その他の本学における諸調査・研究等」を行うために利用します。出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学に出願していることを、保護者等又は出身学校に連絡する場合があります。

なお、入学者については、「入学者の受入準備」、「教務関係(学籍管理、修学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金業務、就職支援等)」、「授業料等収納業務」を行うために利用します。

2. 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」、「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係(授業料免除・奨学金業務等)」を行うために利用します。
3. 一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して個人情報を提供します。
4. 捜査機関等が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて、相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供します。

入試情報の開示

志願者数・受験者数・合格者数・入学者数

和歌山大学ホームページ「入試情報」 <http://www.wakayama-u.ac.jp/admission/> でお知らせします。

学部の紹介

1. 経済学部

本学部は、1922年(大正11年)に創立された旧制和歌山高等商業学校以来の伝統を受け継ぎ、100年近くにわたって社会に多くの優れた人材を送り出してきました。この間、時代と社会の要請にこたえながら、経済社会の理解に不可欠な学問分野である経済学、経営学、会計学、情報学、法学の教員を揃え、論理的思考力、専門知識、実務能力、幅広い教養を有する人材の養成に努めてきました。卒業後の進路は、金融・製造・流通・情報・公務など多様な業種にわたり、昨今の厳しい就職状況下でも就職率は高い水準を保っています。また、本学大学院経済学研究科修士課程に進学する学生もいます。優秀な成績を修めた学生は、3年次修了時点で大学院に進学できる制度が設けられています。

近年の多様化・複雑化する社会においては、複数の学問分野にまたがる専門知識を活用し、一人ひとりが他の人と協力しながら問題を発見・解決する能力が求められています。そのような能力・資質を身につけるために、本学部のカリキュラムは、経済学、経営学、会計学、情報学、法学の各学問領域での体系的な学修に加え、これらのうちのいくつかの学問領域の学修を組み合わせています。その上で、卒業後の進路において必要となる専門知識や実務能力などを考慮して横断的な学問領域における授業科目を体系化しています。学生は初年時から将来の自分の姿を思い描きながら主体的・計画的に学修を進めます。このカリキュラムでは、学修目標とそれによって目指せる可能性のある代表的な進路を想定し、次の「プログラム」を設けています。

「グローバル・ビジネス & エコノミー」

グローバルな視点から経済領域・経営領域で種々の課題に対応できる能力を身に付け、グローバル企業、国際機関、NPO・NGOなどにおいて中心的な役割を担える人材となることを目指します。

「企業分析・評価」

企業の資金調達・運用から事業譲渡など、銀行の融資審査や証券会社の引受、会計事務所のコンサルティング業務、一般企業のファイナンス関連業務などで企業価値の分析及び評価を行うことができる人材となることを目指します。

「ビジネスデザイン」

新たな視点から事業、企業の再活性化に取り組める能力を身に付け、企業の企画部門などにおいて、高い企画力を持って組織変革や業務改善を担える人材や、起業家などを目指します。

「企業会計・税法」

会計学及び税法の視点からの実務能力を身に付け、企業の経理・財務部門において、会計・法制度の知識をもとに組織活性化の支援に取り組む人材や、税理士、公認会計士、不動産鑑定士、国家・地方公務員などを目指します。

「地域公共政策・公益事業」

地域社会における課題解決能力を身に付け、地域の活性化を支援する国家・地方公務員や、公益性の高い事業主体の職員などを目指します。

「サステイナブル・エコノミー」

経済における持続可能性を実現できる多様性・柔軟性を有する能力を身に付け、企業のCSR関連部

門、社会的企業、環境NGO・NPOなどにおいて、多様な利害関係者と各組織の橋渡しとなれる人材となることを目指します。

2. システム工学部

システム工学部システム工学科の特徴

近年、科学技術の急速な発展に伴い、さまざまな工業技術が高度化・専門化してきました。また、一方で、エネルギー、環境、情報のようにグローバルに変化する課題から地域の産業の再生や振興といった課題にも対処することが要求されるようになってきました。前者は各専門分野の分化、後者は専門分野の統合・総合化を示唆しています。

このような状況の下にある産業界や社会の要請により柔軟に対応できるよう、システム工学部では平成27年、これまでの5学科(情報通信システム学科、光メカトロニクス学科、精密物質学科、環境システム学科、デザイン情報学科)を1学科(システム工学科)へと改組を行いました。システム工学科には、10教育研究領域(メジャー)を設定し、学生自らが将来を志向し、自らの興味や資質に見合った領域を主体的に選択することができます。具体的には、2つのメジャーを選択することによってコースを構成し、学科に相当する専門分野を学ぶことができます。これによりこれまでの学科の枠組みに固執することなく、広範かつ柔軟な専門性をもった応用力・適用力が養われることが期待されます。以下に、各メジャーの教育目的とともにいくつかのコースを示します。

・メジャー：機械電子制御

機械電子制御メジャーでは、幅広い視点から論理的思考をもって問題の解決にあたることのできる技術者をめざして、機械工学、応用数学などの素養を身につけた後、制御工学、ロボット工学などのシステム論を用いた設計、運用に関する専門技術について学びます。

・メジャー：電子計測

電子計測メジャーでは、人々の生活や産業を支える情報のセンシングや処理システムを創造できる技術者の育成をめざして、電気電子工学や光工学の基礎と、計測デバイスや計測情報処理などの要素技術、さらにこれらを統合した計測システムについて学びます。

・メジャー：応用物理学

応用物理学メジャーでは、物質におけるナノスケールの世界を探求し、新しい材料やデバイスの開発に対する社会のニーズに柔軟に対応できる能力を身につけられるように、物性物理学、材料科学、電子工学にわたる専門分野を学びます。

・メジャー：化学

化学メジャーでは、化学に関わる基本的法則を学んで物質に関する理解の基盤を作った後、ナノレベルの世界における化学現象や法則、原子・電子レベルでの相互作用の発現や、新たな機能性物質の設計・開発などの専門技術について学びます。

・メジャー：知能情報学

知能情報学メジャーでは、人間とコンピュータの新たな関係が再構築される時代において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、人工知能やロボット、視覚情報処理、コンピュータグラフィクスなどについて学びます。

・メジャー：ネットワーク情報学

ネットワーク情報学メジャーでは、インターネット上に構築される、新たな情報ネットワーク社会において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、モバイル通信やWebシステム、ビッグデータの解析などについて学びます。

・メジャー：環境科学

環境科学メジャーでは、環境を守り、育て、次世代に継承する人材の育成をめざして、環境破壊を未然に防ぐ、自然災害から命や暮らしを守る、地球温暖化に対応する、美しい風景を創造するなど、持続可能な社会の実現に貢献するための知識と技能を学びます。

・メジャー：環境デザイン

環境デザインメジャーでは、人と自然のよりよい関係を具現化できる人材の育成をめざして、自然から生活空間にいたる環境を一体として捉え、自然再生、防災緑化、自然エネルギーなど自然と調和する技術、景観保全やまちづくり、建築設計などの計画技術について学びます。

・メジャー：メディアデザイン

メディアデザインメジャーでは、メディアデザインと情報の双方の知識を持つ人材の育成をめざして、情報技術としてのサウンドやビジュアルのデザイン、人間工学に基づくインタフェースデザイン、さらにその基礎となるデザイン制作や企画方法について学びます。

・メジャー：社会情報学

社会情報学メジャーでは、人や社会を豊かにする情報システムを企画・設計する能力を身につけます。情報技術に支えられた社会の仕組みを知り、新しい情報システムの可能性を探求するために、ソフトウェア開発や高度なコミュニケーションについて学びます。

代表的なコースとそれを構成するメジャー、期待される就職先

コース名	メジャー名	期待される就職先
ロボティクス	機械電子制御 電子計測	機械・電機、自動車、精密機械
ナノテクノロジー	応用物理学 化学	半導体・電子部品、精密機器、化学・医薬品・化粧品、素材
コンピュータサイエンス	知能情報学 ネットワーク情報学	情報・通信、ITサービス、電機
デザインシステム	社会情報学 メディアデザイン	情報・通信、ITサービス、出版・印刷
環境システム	環境デザイン 環境科学	公務員(土木、建築、造園)、建築・住宅、環境プラント
環境化学	環境科学 化学	環境職公務員、環境測量士
電気電子工学	応用物理学 電子計測	電気電子メーカー、精密機械
知能機械システム	機械電子制御 知能情報学	自動車、電機、精密機械、生産機械、医療機器、情報通信産業、ゲーム・アミューズメント
ネットワーク社会システム	ネットワーク情報学 社会情報学	情報通信、サービス産業、ゲーム・アミューズメント

○システム工学部では、スーパーサイエンスティーチャープログラムを設けます。

これはシステム工学部卒業後、本学教育学研究科に進学し高校の理科の教員免許の取得を目指すコースです。

3. 観光学部

21世紀は「観光の時代」。世界のあらゆる国や地域で最も有望な成長分野として注目されるのが観光です。日本においても観光は戦略産業と位置づけられ、官民一体での「観光立国」実現に向けた政策や取組が加速するなか、観光産業や行政の現場と密接に連携しながら、新しい観光学の創造及び観光を支えるに相応しい豊かな教養と専門性、さらにはグローバル時代に対応したハイレベルな国際的・学際的視点を有する観光人材の輩出がますます期待されています。和歌山大学観光学部は、観光教育研究における日本の、そしてアジアの拠点として、これらの人材養成に応えるべくさらに進化します。

観光学部の特色

- ①観光学は人間の生活・文化に関わるあらゆる分野を総合した学問であることから、人文・社会科学から自然科学までの幅広い分野を融合的・横断的に学ぶことのできる充実したカリキュラムを用意しています。
- ②最先端の観光理論を学ぶことはもちろん、教員と学生が自治体と連携して地域課題の解決に取り組むプログラムや海外の連携大学等と共同で取り組むエリアスタディ等の機会を通じて、社会の各方面から即戦力として期待される実践力が身につきます。
- ③ハイレベルな観光人材に相応しい教養の醸成を重視し「観光プロデュース論」「日本文化演習」などユニークな実践科目を配置するほか、グローバル・プログラムの導入を通じて国際化時代における言語面でのバリアフリー化を進めます。

学生生活

(1)入学料免除の制度

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

- ①入学前一年以内において本人の学資を主として負担する者(学資負担者)が死亡した場合
- ②入学前一年以内において本人若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合

(2)入学料徴収猶予の制度

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、平成29年7月末日(入学年度の7月末日が日曜日にあたる時は前々日まで、土曜日にあたる時は前日まで)を限度として入学料の納入を猶予する制度があります。

- ①入学前一年以内において本人の学資を主として負担する者(学資負担者)が死亡した場合
- ②入学前一年以内において本人若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合
- ③経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

(3)授業料免除の制度

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

- ①入学前一年以内において本人の学資を主として負担する者(学資負担者)が死亡した場合
- ②入学前一年以内において本人若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合
- ③経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

(4)学生傷害保険等

①学生教育研究災害傷害保険(学研災)

学研災は、日本国内外において、学生が正課中、学校行事中、通学中、大学施設内にいる間及び課外活動中等に不慮の事故にあい、傷害を受けたり、あるいはそれらが原因で後遺障害を負ったり、死亡した場合に、当該学生やその家族に保険金が支払われる全国的規模の補償制度です。

(注)本学が学生全員の学研災の保険料を負担し、一括加入していますので、個々に加入する必要はありません。

②学研災付帯賠償責任保険(学研賠)【任意加入】

学研賠は、学研災に加えて任意に加入できる保険で、日本国内外において、学生が正課中、学校行事中、課外活動中(注1)及びその往復等で、他人にけがを負わせたり、他人の財物を損壊したことにより生ずる法律上の損害賠償を保証する制度です。

(注1) この保険での「課外活動」とは、大学の規則にのっとり所定の手続きにより、インターンシップ又はボランティア活動の実施を目的とした組織として承認を受けた学内学生団体が行うインターンシップ又はボランティア活動をいいます。これ以外のクラブ活動中の事故は保険金支払いの対象とはなりません。ただし、正課又は学校行事に合わせてその日のクラブ活動(大学が禁じているもの等は除きます。)に参加する場合、その住居と活動場所となる施設の間を合理的な経路及び方法により移動中に行った行為は対象となる活動に含みます。

③学研災付帯学生生活総合保険(学総)【任意加入】

学総は、学研災及び学研賠では補償が不足すると思われる場合に、学研災に加えて任意に加入できる保険で、学研災や学研賠では補償されない病気や日常生活でのケガ等についても補償されます。この保険に加入すれば、賠償責任を負った場合の補償を含んでいるため、学研賠に加入する必要はありません。

(5)ノートパソコン等の情報端末の活用と準備について

本学では、受講登録(時間割の作成・登録)やレポート及び論文作成・提出、資料配布など多くの機会にパソコンを利用しています。平成29年度より更なる学修環境の向上のため、個人所有のノートパソコン等の情報端末を授業でも活用する取り組みを予定しています。このための準備(購入等)が入学後に必要となります。

詳細につきましては、本学入試情報Webサイトにて随時公開すると共に入学手続き時に改めて案内します。

(6)問合せ先

問合せ事項	問合せ先
入学料免除、入学料徴収猶予、授業料免除	学生支援課 TEL 073-457-7122
外国人留学生の宿舎、奨学金、保険など	国際交流課 TEL 073-457-7524
ノートパソコン等の情報端末の活用と準備	学術情報課 TEL 073-457-7177